



2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月9日

上場会社名 フジコピアン株式会社 上場取引所 東
コード番号 7957 URL <https://www.fujicopian.com>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 光本 明
問合せ先責任者（役職名） 専務取締役（氏名） 上田 正隆（TEL）06(6471)7071
半期報告書提出予定日 2024年8月9日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	4,106	△0.1	△307	—	△202	—	△214	—
2023年12月期中間期	4,111	△12.5	△261	—	△166	—	△242	—

（注）包括利益 2024年12月期中間期 20百万円（—%） 2023年12月期中間期 △258百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	△140.27	—
2023年12月期中間期	△158.13	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	16,851	10,303	61.1
2023年12月期	16,164	10,343	64.0

（参考）自己資本 2024年12月期中間期 10,303百万円 2023年12月期 10,343百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	63.00	63.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,300	13.1	160	—	160	—	120	—	78.40

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年12月期中間期	1,789,487株	2023年12月期	1,789,487株
2024年12月期中間期	258,805株	2023年12月期	258,805株
2024年12月期中間期	1,530,682株	2023年12月期中間期	1,530,710株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響をあたえる不確実な要因にかかる本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

上記の予想に関する事項については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の回復が顕著になるなかで、物価高による節約志向の高まりから個人消費の伸び悩みなどもあり足踏み状態となりました。ウクライナ情勢や中東情勢の長期化を受けて原材料・エネルギーコストが高止まり、世界的なインフレと金融引き締めが継続するなか、中国経済の減速などもあいまって全般的に需要回復が停滞するなど景気の下振れリスクを抱えており、先行きは不透明な状況となっております。

このような状況のもと、当グループの強みである、創造型企業としての技術をもとに、新製品の開発および市場の開拓を重点課題とし、多様化・高度化する顧客のニーズに対応する開発に努めてまいりました。

当中間連結会計期間における販売面につきましては、中期経営計画における重点課題「新製品・新規事業の開発」に注力するなかで、主力のサーマルトランスファーメディアに受注の増加など需要回復の兆しが出てきた一方で、テープ類は国内を中心に需要回復に遅れがみられるなど弱含みで推移しました。

また、生産面では、「ものづくり力・生産性の強化」を目指し、グループ全体でのコスト削減を推進し、収益改善に取り組んでまいりましたが、原燃料価格の高止まりや円安進行の影響などもあり、厳しい状況が続きました。

この結果、連結売上高は、41億6百万円(前年同期比0.1%減)となりました。

利益面におきましては、グループを挙げた生産の効率化によるコスト削減に取り組んでまいりましたが、営業損失は3億7百万円(前年同期 営業損失2億6千1百万円)となりました。経常損失は円安にともなう為替差益の計上などがありましたが、2億2百万円(前年同期 経常損失1億6千6百万円)となり、親会社株主に帰属する中間純損失は法人税等の計上などにより、2億1千4百万円(前年同期 親会社株主に帰属する中間純損失2億4千2百万円)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであり、売上高についてはセグメント間の内部売上高又は振替高を除いた売上高で表示しております。

印字記録媒体および事務用消耗品関連事業は、売上高39億5百万円(前年同期比2.0%増)、セグメント利益(売上総利益)は7億4千8百万円(前年同期比7.3%増)となりました。

品目別売上高としましては、サーマルトランスファーメディアは、主力のバーコード用リボンを中心に拡販に努めました結果、24億2千9百万円(前年同期比6.1%増)となりました。

インパクトリボンは、市場の縮小傾向が続くなか、選択と集中にもとづく営業活動を展開し、3億7千9百万円(前年同期比18.6%増)となりました。

テープ類は、新規取引先の開拓や既存取引先シェアアップに努め、海外取引先中心に販売回復してきましたが、国内取引先の在庫調整の影響が長引いており、7億8千9百万円(前年同期比12.2%減)となりました。

機能性フィルムは、欧州を中心とした自動車生産調整にともなう車載用販売回復の足取りが重いものの、新製品に対する需要増加および既存顧客の掘り起こしにより、1億6千1百万円(前年同期比6.7%増)となりました。

その他は、1億4千5百万円(前年同期比12.9%減)となりました。

プラスチック成形関連事業は、取引先各社の需要の落ち込みから、売上高2億円(前年同期比29.2%減)、セグメント利益(売上総利益)は3千2百万円(前年同期比63.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産は、168億5千1百万円(前連結会計年度末比4.3%増)と、前連結会計年度末に比べ6億8千7百万円の増加となりました。これは、主に株価上昇にともない投資有価証券の時価評価額が増加したことなどによるものであります。

負債は、65億4千8百万円(前連結会計年度末比12.5%増)と、前連結会計年度末に比べ7億2千7百万円の増加となりました。これは、主に長期借入金が増加したことなどによるものであります。

純資産は、103億3百万円(前連結会計年度末比0.4%減)と、前連結会計年度末に比べ4千万円の減少となりました。これは、主に利益剰余金が減少したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の増加などにより、3億4千3百万円の収入となり、前年同期比では、5億9千7百万円の収入の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出などにより3億1百万円の支出となり、前年同期比では1億7千5百万円の支出の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入による収入などにより1億2千1百万円の収入となり、前年同期比では2億6千4百万円の収入の増加となりました。

この結果、現金及び現金同等物の当中間連結会計期間末残高は、期首残高に比べ2億1百万円増加し、34億3千6百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期通期の業績予想につきましては、為替や原材料費そのものの動向についてボラティリティが高く、変動費やエネルギーコストに与える影響が大きいため、不透明感が高いことが背景にあることから、前回発表(2024年2月14日)から変更しておりませんが、現在精査中であります。業績予想の修正が必要と判断した場合には速やかに公表いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,234,691	3,436,255
受取手形及び売掛金	1,884,044	2,058,110
電子記録債権	641,652	646,060
商品及び製品	717,110	797,297
仕掛品	471,050	484,985
原材料及び貯蔵品	655,716	636,025
その他	177,890	119,719
貸倒引当金	△2,498	△2,632
流動資産合計	7,779,656	8,175,821
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,699,223	2,683,111
機械装置及び運搬具(純額)	1,577,053	1,518,280
土地	1,679,923	1,679,923
建設仮勘定	29,375	91,880
リース資産(純額)	139,699	126,534
その他(純額)	145,056	134,152
有形固定資産合計	6,270,333	6,233,883
無形固定資産		
ソフトウェア	39,822	61,638
リース資産	390,852	360,396
ソフトウェア仮勘定	5,810	20,369
その他	45,065	44,579
無形固定資産合計	481,550	486,982
投資その他の資産		
投資有価証券	1,430,172	1,750,862
その他	202,975	204,322
投資その他の資産合計	1,633,148	1,955,185
固定資産合計	8,385,032	8,676,051
資産合計	16,164,689	16,851,873

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	436,720	543,198
電子記録債務	747,927	965,700
1年内返済予定の長期借入金	1,036,428	965,472
リース債務	71,842	73,819
未払法人税等	16,821	25,786
未払消費税等	4,910	7,485
設備関係支払手形	5,298	33,850
設備関係電子記録債務	165,263	138,819
火災損失引当金	70,543	2,250
その他	428,843	640,818
流動負債合計	2,984,599	3,397,202
固定負債		
長期借入金	1,597,405	1,887,007
リース債務	111,511	83,170
繰延税金負債	245,921	336,988
役員退職慰労引当金	239,208	246,083
退職給付に係る負債	638,606	594,369
資産除去債務	3,811	3,811
固定負債合計	2,836,464	3,151,430
負債合計	5,821,064	6,548,632
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,791,796	4,791,796
資本剰余金	2,995,928	2,995,928
利益剰余金	2,057,841	1,781,906
自己株式	△422,020	△422,020
株主資本合計	9,423,546	9,147,611
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	504,121	726,470
為替換算調整勘定	400,177	416,956
退職給付に係る調整累計額	15,779	12,201
その他の包括利益累計額合計	920,078	1,155,628
純資産合計	10,343,624	10,303,240
負債純資産合計	16,164,689	16,851,873

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	4,111,262	4,106,079
売上原価	3,325,626	3,324,487
売上総利益	785,635	781,592
販売費及び一般管理費	1,047,055	1,089,245
営業損失(△)	△261,419	△307,653
営業外収益		
受取利息	77	82
受取配当金	35,670	37,783
為替差益	62,390	73,110
その他	5,938	3,972
営業外収益合計	104,077	114,950
営業外費用		
支払利息	9,475	9,467
その他	108	243
営業外費用合計	9,583	9,711
経常損失(△)	△166,925	△202,413
特別損失		
固定資産廃棄損	7,379	2,233
特別損失合計	7,379	2,233
税金等調整前中間純損失(△)	△174,305	△204,647
法人税等	67,742	10,060
中間純損失(△)	△242,048	△214,708
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△242,048	△214,708

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純損失(△)	△242,048	△214,708
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	84,182	222,349
為替換算調整勘定	△102,252	16,779
退職給付に係る調整額	1,553	△3,578
その他の包括利益合計	△16,517	235,550
中間包括利益	△258,565	20,842
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△258,565	20,842

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失(△)	△174,305	△204,647
減価償却費	293,557	317,776
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,562	△49,517
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,425	6,875
火災損失引当金の増減額(△は減少)	—	△68,293
受取利息及び受取配当金	△35,748	△37,866
支払利息	9,475	9,467
固定資産廃棄損	7,379	2,233
売上債権の増減額(△は増加)	378,327	△176,746
棚卸資産の増減額(△は増加)	30,247	△70,065
仕入債務の増減額(△は減少)	△639,656	321,552
未払又は未収消費税等の増減額	6,304	46,416
その他	△52,042	187,434
小計	△167,474	284,617
利息及び配当金の受取額	35,748	37,866
利息の支払額	△9,475	△9,467
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△112,492	30,698
営業活動によるキャッシュ・フロー	△253,694	343,715
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△468,757	△276,320
無形固定資産の取得による支出	△70,790	△19,969
投資有価証券の取得による支出	△3,993	△4,891
投資有価証券の売却による収入	68,060	—
その他	△1,855	△703
投資活動によるキャッシュ・フロー	△477,336	△301,885
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△75,026	—
長期借入れによる収入	670,000	750,000
長期借入金の返済による支出	△333,463	△531,354
リース債務の返済による支出	△256,294	△36,250
自己株式の取得による支出	△89	—
配当金の支払額	△148,044	△61,180
財務活動によるキャッシュ・フロー	△142,917	121,213
現金及び現金同等物に係る換算差額	△18,802	38,519
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△892,751	201,563
現金及び現金同等物の期首残高	4,271,498	3,234,691
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,378,746	3,436,255

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I. 前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	印字記録媒体 および事務用 消耗品関連事業	プラスチック 成形関連事業	計		
売上高					
サーマルトランス ファーマディア	2,289,315	-	2,289,315	-	2,289,315
インパクトリボン	320,471	-	320,471	-	320,471
テープ類	899,463	-	899,463	-	899,463
機能性フィルム	151,453	-	151,453	-	151,453
その他	166,701	-	166,701	-	166,701
プラスチック成形	-	283,857	283,857	-	283,857
顧客との契約から 生じる収益	3,827,405	283,857	4,111,262	-	4,111,262
外部顧客への売上高	3,827,405	283,857	4,111,262	-	4,111,262
セグメント間の 内部売上高又は振替高	-	3,981	3,981	△3,981	-
計	3,827,405	287,838	4,115,243	△3,981	4,111,262
セグメント利益	697,728	89,228	786,956	△1,320	785,635

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

II. 当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	印字記録媒体 および事務用 消耗品関連事業	プラスチック 成形関連事業	計		
売上高					
サーマルトランス ファーマディア	2,429,104	-	2,429,104	-	2,429,104
インパクトリボン	379,983	-	379,983	-	379,983
テープ類	789,395	-	789,395	-	789,395
機能性フィルム	161,564	-	161,564	-	161,564
その他	145,118	-	145,118	-	145,118
プラスチック成形	-	200,912	200,912	-	200,912
顧客との契約から 生じる収益	3,905,166	200,912	4,106,079	-	4,106,079
外部顧客への売上高	3,905,166	200,912	4,106,079	-	4,106,079
セグメント間の 内部売上高又は振替高	-	296	296	△296	-
計	3,905,166	201,209	4,106,376	△296	4,106,079
セグメント利益	748,821	32,813	781,635	△42	781,592

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。